

令和6年度 事業報告

※表記について

- 1 「全国高等学校 PTA 連合会」を「全国高 P 連」と略記する。
- 2 「全国高等学校 PTA 連合会大会」を「全国大会」と略記する。

I 事業別報告

1 高等学校 PTA 活動の質的向上と情報共有に資する研究大会、講演会、研修会等の開催

(1) 第73回全国大会の主催

日程： 令和6年8月22日(木)・23日(金) 開会式、記念講演、閉会式、分科会

場所： アダストリアみとアリーナ 他4会場

テーマ： 「歴史の町で変革を!!」～新たな時代が目に入らぬか～

主管： 茨城県高等学校PTA連合会

- ・記念講演：二所ノ関 寛 氏 (第72代横綱・稀勢の里)
講演 人材育成の不易流行
- ・分科会：第1分科会 教育の過去・現代・未来
～故きを温ねて新しきを知る～
第2分科会 保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法
～新たな一歩を踏み出すために～
第3分科会 新・生きる力と家族の絆
～子どもの心に風邪を引かせない～
第4分科会 みんなで考えよう、これからの PTA
～あるべき新しい姿とは～
第5分科会 これからのコミュニティ・スクール
～地域社会との新たな連携・協働～
- ・参加者： 実参加者数 5,488人、オンライン参加校 259校

(2) 地区大会の共催

下表の通り各地区で開催した。

地区	開催日	場所
北海道地区	6月8日(土)・9日(日)	北見市
東北地区	7月4日(木)・5日(金)	山形市
関東地区	7月23日(火)・24日(水)	千葉市
東京地区	7月13日(土)	台東区
北信越地区	7月5日(金)・6日(土)	長野市
東海地区	6月21日(金)	津市
近畿地区	7月14日(日)・15日(月)	京都市
中国四国地区	7月12日(金)	高知市
九州地区	6月20日(木)・21日(金)	熊本市

(3) 全国会長・事務局長連絡会、全国会長・事務局長研修会の開催

○全国会長・事務局長連絡会： 令和6年10月5日(土)／マイステイズ新大阪 で

報告、グループ協議、連絡を行う。

・理事会報告

・グループ協議 会長、事務局長別でのグループ協議を行う。

○全国会長・事務局長研修会： 令和7年2月1日(土)／東京ガーデンパレス で
報告、研修、連絡を行う。

研修 1 テーマ 「高等教育の修学支援新制度について」

講師 文部科学省高等教育局学生支援課課長補佐 西尾 和幸 氏

研修 2 テーマ 「PTA・PTA連合の「今」と「これから」」

講師 フリーライター・エディター 長島 ともこ 氏

2 高等学校PTA活動に関する調査研究

アンケートシステムによる情報の収集

調査広報委員会が、アンケートシステム（Google アンケート）を使用し、PTA 活動の現状や全国高等学校の学習環境の状況に対する会員の皆様からの声を反映し、PTA 活動の充実や学習環境の更なる改善の要請につなげるため、アンケートを実施（都道府県市高P連加盟 PTA 会長 対象）している。

3 青少年の健全育成および生涯学習に資する情報の収集と提供

(1) 青少年の健全育成に係る事業助成

各都道府県市連合会、地区連合会が地域の実情に応じて実施する「高校生のマナーアップ運動に関する事業（啓発活動）」をはじめ、青少年の健全育成に係る事業（研修会、講演会等）に対する助成を支給する。

【健全育成に係る助成金申請団体】

青森県高P連、茨城県高P連、栃木県高P連、群馬県高P連、埼玉県高P連、神奈川県高P連、

岐阜県高P連、滋賀県高P連、和歌山県高P連、兵庫県高P連、岡山県高P連、香川県高P連

愛媛県高P連、高知県高P連、福岡県高P連、長崎県高P連、近畿地区高P連、中国・四国地区高P連

(支給総計額 2,443,272 円)

(2) インターネットリテラシー向上のための取組み

文部科学省委託事業のネットモラルキャラバン隊事業等に協力し、保護者等へのインターネットリテラシー向上を図った。

(3) 教育課題に関する調査研究

全国会長・事務局長研修会で取り上げる課題について研修委員会や健全育成委員会で検討した。

(4) 「高校生と保護者の進路に関する意識調査」について

各地区3校の高校2年生および保護者を対象とした意識調査について、隔年で実施する。

次回実施は、令和7年度実施の予定である。

4 広報紙等の刊行

(1) 会報の発行

本会関係の情報を総合的、包括的に提供するため会報を発行した。

第98号 4月25日付発行（令和5年度活動報告、各地区トピックス、全国大会茨城大会案内等）

第99号 12月25日付発行（全国大会茨城大会関係、地区情報、全国大会三重大会案内等）

(2) ホームページの充実

本会関係の情報発信を円滑に行うため、ホームページの充実に取り組んでいる。

5 顕著な業績をあげたPTAその他の団体及び個人の顕彰

(1) 全国高P連としての表彰

本会表彰規程に基づき、個人 69 名、団体 78 校、役員 35 名を顕彰した。

(2) 文部科学大臣による表彰事務協力

第 73 回全国大会茨城大会で、優良 PTA 文部科学大臣表彰については被表彰団体を全国大会全体会で紹介し、表彰を行った。

6 社会環境（教育環境）整備ならびに家庭の健全化を図る活動

(1) 薬物乱用防止パンフレットの制作および配布

専門委員会として「薬物乱用防止パンフレット編集委員会」を編成し、保護者向け啓発資料として「薬物乱用防止パンフレット」を作成し全国に配布。本事業は年度ごとに財団法人日本宝くじ協会に申請を行って助成金を受けているもので、約 1,800 万円の事業規模で実施した。

《 薬物乱用防止パンフレット編集委員会 》

北垣 邦彦	東京薬科大学薬学部教授（薬学博士）
嶋根 卓也	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部 心理社会研究室長（医学博士）
松本 達朗	公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター専務理事
鈴木 貴晃	文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官（薬学博士）
松下 妙子	本会理事、健全育成委員長

《 事業概要 》

- ・発行部数……110 万部
- ・配布対象……加盟校新入生保護者 その他
- ・主な改訂……オーバードーズに関する内容と数値の更新を行い改訂した。

令和 7 年 2 月初旬配布

(2) 官庁等への意見表明、要請

国立 P T A 4 団体で教育環境の課題に対して継続して意見交換する。

(3) 他の関係団体、機関との連携

文部科学省、内閣府等の省庁、教育関係機関等との情報交換、連携活動を進めた。

イ 令和 6 年度全国高 P 連役員等が就任し、情報交換、意見表明した委員

〈文部科学省・内閣府〉

田名部会長	文部科学省「大学入学者選抜協議会」委員 文部科学省「高等教育の修学支援新制度の在り方検討会議」委員
中村副会長	文部科学省「図書館・学校図書館の運営の充実に係る有識者会議」委員
中川事務局長	文部科学省「大学入学選抜における総合的な英語力評価を推進するための ワーキンググループ」委員
中川事務局長	内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員

〈他の省庁および独立行政法人関係〉

田名部会長	(独) 日本学生支援機構運営評議会委員
中村副会長	(独) 大学評価・学位授与機構大学ポートレートセンターステークホルダー・ ボード委員
松下副員長	子ども家庭庁「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」委員
中川事務局長	(独) 日本スポーツ振興センター災害共済給付事業連絡会議委員

〈社会教育団体関係その他〉

田名部会長	AIG 高校生外交官プログラム実行委員
田名部会長	(公社) 日本 PTA 協議会「広報に関する研究会」委員
中川事務局長	(公財) 日本修学旅行協会評議員、(公財) 日本学校保健会評議員 (公社) 日本教育会理事、(公財) 古岡奨学会評議員、 (公財) 全国高等学校体育連盟「インターハイ改革 PT」委員

7 賠償責任補償制度の運営に関する活動

(1) 「全国高 P 連賠償責任補償制度」普及啓発活動

イ 令和 6 年度の全国高 P 連加盟 PTA 数は、3,805 (PTA 数)、加盟生徒数は、1,880,366 人。

昨年度の全国高 P 連加盟 PTA 数は、3,839 (PTA 数)、加盟生徒数は、1,896,981 人。

全国高 P 連賠償責任補償制度加入 PTA 数は、2,289。

昨年度の全国高 P 連賠償責任補償制度加入 PTA 数は、2,287。

全国高 P 連賠償責任補償制度加入生徒数は減少した。(1,155,537 人→1,151,795 人)

全国高 P 連賠償責任補償制度生徒加入率は、60.9%→61.3%。

- ロ 制度への理解を深めるため、賠償責任補償制度運営委員等による県連・各機関へ情宣活動を行った。

(2) 賠償責任補償制度の円滑な業務運営

都道府縣市高 P 連事務局と連携し、賠償加入業務、集金業務等のスムーズな進行・運営を行うことができるよう、手引きの修正、加入者票や制度維持費の取り扱いについて改善を図った。

8 その他この法人の目的を達成するために行った事業

(1) 他の団体との協力関係

イ 《 令和 6 年度 法人または団体の賛助会員 》

東京海上日動火災保険株式会社

損害保険ジャパン株式会社

AIG 損害保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社

株式会社日本旅行